

西武新宿線（中井駅～野方駅間）連続立体交差事業の事業認可の変更について

本事業は東京都が事業主体となり、鉄道事業者・中野区が連携して、西武鉄道新宿線の中井駅～野方駅付近までの約2.4kmについて鉄道を地下化し、道路と鉄道を連続的に立体交差化することにより、踏切の除却による交通渋滞の解消などを目的に進められているところである。

この度、本事業に関わる事業施行期間の変更等について東京都事業評価委員会において事業継続の了承を受けたので報告する。なお、今後、国土交通省において事業計画変更の認可告示をもって確定する。

1 事業名称

東京都市計画都市高速鉄道事業西武鉄道新宿線（中井駅～野方駅間）

2 都市計画事業施行者

東京都

3 事業区間

西武新宿線（中井駅～野方駅間） 延長約2.4km（下図参照）



4 変更内容

(1) 事業施行期間の変更予定（7年延伸）

（当初）平成25年4月1日から令和3年3月31日まで

（変更前）平成25年4月1日から令和9年3月31日まで

（変更後）平成25年4月1日から令和16年3月31日まで

【主な延伸理由】

- ・用地取得の遅れ、シールド工事の掘削計画見直し等

(2) 事業費の変更予定

全体事業費約1,635億円（現全体事業費約1,219億円、+416億円）

【主な増額理由】（+416億円）

- ・物価上昇に伴う労務単価・資材単価の見直し、工期延伸に伴う施工計画等の変更等

5 区民への周知

区において区民団体への説明（町会、商店会、各駅周辺まちづくり検討会等）

6 沿線まちづくり

連続立体交差事業を契機とした沿線の沼袋駅及び新井薬師前駅周辺のまちづくりについては、地域住民及び関係権利者の理解と協力を得ながら、着実に推進していく。